

ダラスのワーキング女子へエールを!

～DJCWのマンスリーメッセージ～

メンター

最近巷でよく聞くメンタリング。メンター（支援者）がメンティー（被支援者）へ指導や助言を提供し、メンティーの成長を後援するしくみです。既に活用されている方も多いかも知れません。私はDJCWというダラス近郊で働く日本人キャリア女性を応援する会を共同主催しているのですが、そこでもメンターの話が出ます。私も一時期メンターを集中的に探していました。以前「もつとこの人から学んでみたい」と思えるステキな方に出会ったとき、「なにか押しかけで私のメンターになつて下さい！」と頼んだこともあります。自分よりも上の役職の人を選ぶべきだと考える方も多いようですが、必ずしもその必要はありません。自分より下の役職でも、まだ若くて経験が浅い人でも、同業者じゃなくても、この人から学んでみたいと思つたら十分メンターだと思います。また、マンツーマンのメンター・メンティーという関係性で会話をしなくても、先人の知恵を学んで自分の将来に活かしていこうと試みるのであれば、それは間接的なメンターシップの考え方だと言えます。今月はそんなメンタリングについてお話をしたいと思います。

まだ私が20代で仕事を始めたばかりの頃は、仕事の成功者って何しているの?と思い、ゲストスピーカーイベントや勉強会などによく顔を出していました。スピーカーの経験を見ると、ものすごい役職の人ばかり。たゞかしバラ色のキャリアを歩んできたんだな?と思いつのですが話を聞くと順風満帆に進んできた人なんていませんでした。皆人生山あり谷あり、でも努力と運で今の立場にいるのです。そんな方々のお話を聞いて若い心ながら勇気づけられたのを覚えていています。

次は、仕事も慣れてきた30代の頃。結婚や出産を考える時でした。その頃興味を持つたのは、成功しているワーキングウーマン。彼女達がいかに家庭を持ち子育てをしながら仕事を続け、しかも「丁

HE・コーポレートアメリカ」のトップにのぼりつめたのか?その解を探すべく様々なイベントに出席したのですが、そこで聞いた話を今でも覚えています。それは某エグゼクティブリクルート会社の幹部であるマーチス・エリス・カーラ氏のお話でした。「家庭・子供・仕事・成功。全てを手に入れるのは可能ですか?でも同時にありません。人生は長いマラソン。長期的に見て今何をしたいのか、何を手に入れたいのかを考えていましよう」というお言葉でした。これはメンターというよりも学んだ内容ですが、まるでメンターから教わったような考え方として私の心に残っています。

時として、いくつも綿密に自分はこんなキャリアを積んでいこうと計画したところ、世間の情勢がそれを許さない時もあります。それを身をもつて経験したのがリーマンショックの頃でした。当時の景気は最悪で、同僚も次々に解雇されたりました。次に肩たたきを受けるのは自分かも…そんなヒヤヒヤな時期を経験した当時の私は「不景気でも無敵になりたい」という思いを胸に、懸命にメンターを探しました。幸い上司のはからいで大手不動産会社JLL社のプローカーさんを紹介頂き、メンターセッションをお願いすることになりました。彼は別名「JLL社の伝説」という異名を持つ超やり手の方。日常ではお会いできないような方からの色々なアドバイスを頂きました。強になりました。

メンターは何も一人のみと決まつてゐるわけではありません。また社外だけでなく社内でもメンターを探す機会はたくさんあります。私の今の直属上司も、私のメンターの一人です。彼女はこの道40年の大ベテラン。きつちり細かく仕事を進めていくタイプなので、人によつてはマイクロマネージャーだとネガティブにとられる人もいるようですが、私は彼女のきめ細かな「かわい所に手が届く」アプローチがとても好きです。なので、彼女かい學べることを全て吸収しようと思ふ毎日学びまくっています。年齢上といつ突然「もう定年退職するわ…」と言つ出すかわからないので、いまのうちにたくさん彼女から吸収せねば…。

メンターというわけではないですが、いわゆる反面教師も学べる相手です。以

前勤めていた会社の上司が正にそんなタイプでした。決して悪い人ではないのですが、仕事の進め方がイマイチ。結局下の私が彼の分までやる羽目になることが多い。そのたびに何度も「なんで私がやつの仕事をしてるんだ?」と思いまし

た。でも当時の部長さんに「私も昔はヘタレ上司の仕事を手伝つたわよ。仕事ができない上司がいるなり、それをチャンスと思い、あなたがやればよいのよ。勉強になるわよ」と言われました。その時は全く腑に落ちなかつたのですが、今から思えば確かにあの頃は本当に色々と学んだなあ。結果オーライとするか!?

学んだ内容を次の世代に教えるのもまたメンターです。今度は私が師匠になつて教えるなんて何とも恥ずかしい話ですが、時間のある限りやりたいもので、でもせつかくわざが教えようと思ひ込んでも、メンティー(生徒)側にその意図がないと何の意味もありません。

一方でやる氣のある部下がメンティーにいたりすると、教えていたりしながらも、自分たちの見込み、私をもつとサポートしてあげたい…と思います(単純)。そんな彼らが成長していいのを見るのが、メンターにとっての最高のjouissanceですね。

今私は、他の部から転属してきた部署下であります。どうやら以前の部署ではうまく仕事ができなかつたため、こちらの部署へ配属されたとのことです。でもその部下と話ををしてみると、やる気はあるじ、頭もよそうな感じです。さうに詳しく述べ聞くと、以前の部署では業務をきちんと学ぶ機会がなくて困つていたとのことでした。それを聞いて私は業務トレーニングをやり直し、これもあれもやつてみようと様々なチャレンジを与えてみたのです。ほんめはピッククリしていませんが、今ではどんどん自分から一歩を踏み出していく歩。

日々是精進、「これはメンターもメンティーも一緒です。今後も日々勉強しつつ、次世代を育てるお手伝いをしていきたいです。

プロフィール

DJCW(Dallas Japanese Career Women)

ダラス在住の働く日本人女性2人が2018年に立ち上げた会。「ダラスにて頑張っている日本人のキャリア女性を応援し、ネットワークの場を作ろう」という趣旨で、毎月イベントなどを通じてネットワークの場を作つてゐる。メールアドレス : djcwomen@gmail.com ウェブサイト : www.djcw.org